第 4 講 【古代編】東アジア世界の特質
PART1 春秋戦国時代と中国の思想

Chapter 1　春秋戦国時代の動乱

目標　春秋戦国時代がはじまった背景に何があったのかを理解しよう。
戦国の七雄が台頭していった理由を理解しよう。

1　東周と春秋戦国時代

①〔　　　　　〕時代（東周時代前半）

前 770 年，西方の遊牧民に**鎬京**を攻略された周が都を**洛邑**に移す

※これ以後の周を東周，この時代を**東周時代**と呼ぶ。

A　周王の支配力が弱まり，大国化した南方の**楚**が北方諸国の脅威になる

B　実力のある有力諸侯が〔　　　　　〕（盟主）となり周王を支える

C　なかでも〔　　　　〕の**桓公**，〔　　　　〕の**文公**など，代表的な 5 人を**春秋の五覇**と呼ぶ

D　有力諸侯たちは，〔　　　　　　　　　〕（周王を尊び，異民族の侵入を防ぐ）を名目としつつ勢力拡大を図る

②〔　　　　　〕時代（東周時代後半）

前 403 年，大国の晋が**趙・魏・韓**の 3 国に分裂。諸国間の秩序が失われる

A　〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれた七大強国（**燕，斉，楚，秦，韓，魏，趙**）が分裂。激しい勢力争いを繰り広げる

B　家臣が諸侯の地位を奪うなど，**下剋上**の風潮が広まる

C　前 4 世紀中頃になると，諸侯が**王**を自称。周王はまったくの有名無実に

2　春秋戦国時代と社会の変化

①〔　　　　　　　　　〕（中華思想）の形成

華（中国）を文化の中心とし，周辺民族を夷狄と呼んでさげすむ思想が生まれる

②**鉄製農具**の普及

A　〔　　　　　　　　〕と，牛に鉄製の犂をひかせる〔　　　　　〕の使用により農業生産力が飛躍的に向上

B　家族単位での農業経営が可能となり，氏族の統制がゆるくなる

C　農産物の流通や，製鉄，製塩などに従事する**商工業者**が活躍

③貨幣の流通

商工業の発達にともない，**戦国の七雄**の各国が，**刀銭（燕や斉）**，**布銭（韓・魏・趙）**，**円銭（秦）**，**蟻鼻銭（楚）**などの〔　　　　　　　　〕を発行

④**富国強兵**

戦国の七雄の各国は競って富国強兵に努め，鉄器を用いて未開地を開拓したり，強力な軍隊を編成したりした

※**秦**は法家の商鞅を登用して変法（改革）を断行し，急激に強大化。

⑤〔　　　　　　　　〕の登場

実力主義の社会になった戦国時代には，思想・言論の自由な風潮が広まり，**新しい思想**や**学派**が現れる

春秋の五覇

戦国の七雄

まとめ

周王の権力が低下すると，諸侯が乱立して台頭してゆき，春秋戦国時代がはじまった。

戦国の七雄と呼ばれた燕，斉，楚，秦，韓，魏，趙では，農業生産力の向上で富国強兵が進んだ。

Chapter２　諸子百家の思想

目標
諸子百家が生まれた背景に何があったのかを理解しよう。
儒家，法家，道家の主張を比較してみよう。

1　儒家の思想と中国思想

春秋戦国時代には，個人の能力が重視されて各国の君主が有能な人材を求めるようになり，自由な思想が広がっていった。そのため〔　　　　　　　　〕と呼ばれる思想家や学派が多数生まれた。

①〔　　　　〕は春秋時代末期の思想家の〔　　　　〕を祖とする学派で，
　礼（社会秩序）と仁（社会道徳）の実践による理想社会の実現を説いた
　→孔子の教えと言行を弟子たちがまとめたのが『**論語**』

②孔子の教えが戦国時代の**孟子**，**荀子**らによって発展

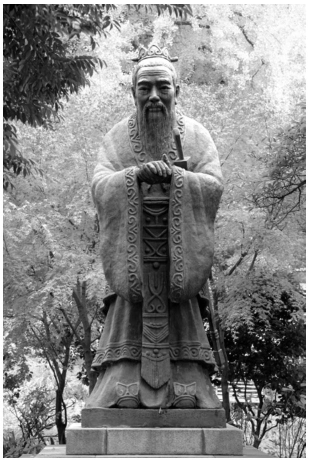
　A〔　　　　〕

　　あ　人の本性は善であるとする〔　　　　　　〕に立ち，徳治主義（道徳によって政治を行うこと）による**王道政治**を説いた

　　い　孟子は「王朝が変われば姓も易（か）わる（易姓）。悪政を行った天子を廃することは，天の命を革（あらた）める行為である（革命）」とする**易姓革命**を容認
　　　※代表的な著作は『**孟子**』。

　B〔　　　　〕

　　人の本性を悪であるとする〔　　　　　　〕の立場から，**礼**に基づく国家統治を説いた
　　※代表的な著作は『**荀子**』。


孔子の銅像

2 法家の思想

①商鞅や韓非などの〔　　　　　〕は，徳治主義ではなく，法律に基づいて国家を治める**法治主義**を主張

②〔　　　　　〕は**秦**の孝公に仕え，**郡県制**の施行などの政治改革（変法）を断行し，秦を強国にした

③韓の王族出身の〔　　　　　〕は法家を理論的に大成させた

※代表的な著作は『韓非子』。

3 道家の思想

①〔　　　　　〕や〔　　　　　〕に代表される道家は，人為的な礼や仁を否定し，**無為自然**（自然のままであること）を主張

②漢代の初めに為政者の間に流行した**黄老思想**に影響を与えた

4 その他の諸子百家の思想家

①**孫子**，呉子らの〔　　　　　〕は，戦略や戦術の理論から国家経営までを説いた

②**墨子**を祖とする〔　　　　　〕は，**兼愛**（すべての人を平等に愛すること）や国家間における**非攻**（非戦論）を主張

③〔　　　　　　　〕の**鄒衍**(すうえん)は，世界のすべてのものは日と月，木，火，水，金（金属），土からなるとする**陰陽五行説**を説いた

④蘇秦，張儀らの〔　　　　　　　〕は，秦と東方の６国が争っていた戦国時代に各国を回り，外交策を説いた

A　蘇秦

東方６国の合従策を説く

B　張儀

秦や東方６国に対する個別の連衡策を説く

まとめ

春秋戦国時代では個人の能力が重視され，さまざまな思想が生まれるきっかけとなった。

儒家は徳治主義で，法家は法治主義，道家は無為自然を主張した。

第４講　PART１　確認問題

1　前８世紀に周王が新たな都とした都市はどこか。

①　鎬京　　②　咸陽
③　洛邑　　④　長安

2　戦国時代，特に有力だった七大強国は何と呼ばれたか。

①　戦国の七将　　②　戦国の七雄
③　戦国の七侯　　④　戦国の七覇

3　春秋戦国時代に鉄製農具とともに普及したものはどれか。

①　印刷術　　②　製紙法
③　有輪犂　　④　牛耕

4　戦国時代の諸国が発行した青銅貨幣はどれか。

①　和同開珎　　②　刀貨
③　開元通宝　　④　貝貨

5　王道政治を理想とし，易姓革命を唱えた儒家はだれか。

①　孔子　　②　荀子
③　孟子　　④　老子

6 秦に仕え，法家思想に基づいて政治改革を行い，秦を強国にするのに貢献した人物はだれか。

① 商鞅　② 老子
③ 韓非　④ 孫子

7 無為自然を主張した，老子や荘子に代表される学派を何というか。

① 法家　② 墨家
③ 道家　④ 儒家

8 戦国時代に諸国を遊説して外交策を説いた学派を何というか。

① 兵家　② 陰陽家
③ 法家　④ 縦横家

第 4 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：③

洛邑は黄河中流に位置する都市で，前 11 世紀に東方統治のために建設された。のちに洛陽と呼ばれ，後漢，魏，晋（西晋）などの都となった。

2 解答：②

燕，斉，楚，秦，韓，魏，趙の 7 国が**戦国の七雄**と呼ばれた。

3 解答：④

牛耕は，牛に鉄製の犂を引かせる耕作技術で，深く耕すことが可能となった。

4 解答：②

刀貨は小刀を模した**青銅貨幣**で，刀銭ともいう。主に斉，燕，趙などで使用された。貝貨は貝殻でつくられた貨幣で，殷，周の時代に用いられた。

5 解答：③

孟子は諸国の為政者に王道政治を説いたが，聞き入れられず，晩年は弟子の教育に専念した。

6 解答：①

商鞅は孝公に仕えて秦の発展に貢献したが，孝公の死後，反対派に謀反の罪をきせられ，処刑された。

7 解答：③

道家は**老子**を祖とする学派で，前 4 世紀頃，**荘子**によって大成されたとされる。

8 解答：④

縦横家の**蘇秦**は，燕，斉，楚，韓，魏，趙の 6 国が同盟して秦に対抗するべきとする合従策を説き，6 国が個別に秦と同盟する連衡策を説いた縦横家の**張儀**と対抗した。